

バドミントン競技 活動再開に向けてのお願い

公益財団法人 日本バドミントン協会 会長 関根 義雄
日本バドミントンメーカー会 会長 米山 勉
日本バドミントン専門店会 会長 古橋 政紀

新型コロナウイルス感染拡大の中2020オリンピック・パラリンピックが延期され、大会関係者の感染リスクや選手の全国的な移動に伴う感染拡大リスク等を考慮し、公益財団法人日本バドミントン協会におきましては2020年開催予定の本会主催第一種大会を苦渋の決断で中止してまいりました。またこれに伴い、各都道府県も予選会を兼ねている様々な大会を中止にしていると思います。

しかし、ステイホームからウィズコロナ・アフターコロナに移行する中、日本バドミントン界の灯をともし続けるためにも、本会といたしましては12月の全日本総合バドミントン選手権大会を無観客で開催することを決定いたしました。ナショナルチームは9月1日よりナショナルトレーニングセンターにて合宿を開始いたしました。日本 A 代表合宿の再活動は約半年ぶりとなります。

つきましては各都道府県、市区町村の協会におかれましても、本会作成の新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドラインを遵守するなど感染防止策を徹底したうえで、それぞれの地域での交流試合、練習試合、合同練習会等の活動再開を是非、実現していただきますようお願いいたします。公式大会での活躍の場を閉ざされた小学生・中学生・高校生・大学生を中心としたジュニア層はもちろんですが、若い世代からシニア層まで大会での活動の場を閉ざされたバドミントン競技者及び愛好者の忸怩たる思いを汲んでいただき、ガイドラインに沿ったステップを踏み交流試合・大会等を再開していただきたいと思っております。

日本バドミントン協会といたしましても既に実施されている県もあると思っておりますが、上記内容のお願いに対して関係者一同が力を合わせてこの困難を乗り越えていきたいと考えております。重ねて皆様のご協力を切にお願いいたします。